

# ～ はちがめ堆肥の生産工程 ～



## 1. 混合(生ごみ・種菌・水分調整材等を混合)

生ごみなど有機性残渣を投入、種菌や水分調整材(もみガラ、籾屑)と混合、水分含有率を60%程度にする。



## 2. 初期醗酵(1日～7日、温度は75℃に上昇)

毎日切り返しと移動を行い、空気にふれると微生物の働きで活発になり、温度は一気に75℃近くまで上昇する。



## 3. レーン投入(レーン式自走醗酵マシンに投入)

初期ヤードで約1週間醗酵させ、レーン式自走醗酵マシンに投入、マシンの回転で攪拌作業により1日1m前進させる。



## 4. 中期醗酵(7日～40日、本格的醗酵)

温度はほぼ72℃を維持。高温のため堆肥中の種子やうじ虫、大腸菌、サルモネラ菌などもこの時点で死滅する。



## 5. ふるい

約40日目でふるいにかけます。ふるいに通らない大きなものは種菌として初期醗酵ヤードへフィードバックする。  
(写真は啓成中学校1年生のオンライン・ワン授業での体験学習)



## 6. 熟成

ふるいにかけた堆肥を約60日間、15日ごとに切り返しながらか移動させ、塾生させる。この間、時間と共に緩やかに温度が下がる。  
(1番のピットに季節によってキノコが発生するときがある)

# 一般家庭生ごみステーション活動



生ごみ堆肥化プラントの見学



生ごみステーション設置の話合い



生ごみステーション開始

## 平成13年 生ごみステーション第一号設置

- ・市民の皆さんの希望で、はちがめプランの見学を行い見学後の話し合いの結果、生ごみステーションの設置に至った。

## 内容

- ・一つの生ごみステーションは、5世帯以上・12世帯まで。
- ・参加会費一ヶ月500円。
- ・会費の集金はステーションの代表が行い、はちがめプランに届ける。

# 生ごみ堆肥化 普及を

## 市民の会、市長に要望



循環型社会実現へ、市に要望書を提出した渡辺きよめ代表(右)ら—伊万里市役所

伊万里市

事業などに取り組む伊万里市のNPO法人「伊万里はちがめプラン」(福田俊明理事長)を支援する「はちがめ生ごみステーション市民の会」(渡辺きよめ代表)がこのほど、塚部芳和市長に同事業の普及、啓発を求める要望書を提出した。

同会は二月、公的施設の生ごみ引き渡しなどを求める要望書を市に提出。その後、市から「引き渡しはできない」とする回答があり、再度の要望となった。

市庁舎には渡辺代表ら十一人が訪問。「燃えるごみを『生ごみ』と『その他』に分け、はちがめプランに委託してほしい

いなど話し、七月中旬までの回答求めた。塚部芳和市長は「循環型社会実現には、互いの意見に折の合いをつけることが大切。活動は評価している。可能なことは取り入れていきたい」と答えた。

(武田)

### 現在

- ・ 市民の皆さんの協力によって現在の生ごみステーションは27ヵ所250世帯が生ごみ分別資源化に参加協力をいただいている。
- ・ 最近では「生ごみステーション市民の会」が結成され、市長に対して市民の生ごみ分別回収の支援及び学校給食の生ごみ堆肥化等要望書の提出がなされた。

# 菜の花エコプロジェクト活動



はちがめ堆肥の散布し、耕運



生徒・保護者・ボランティアによる  
菜の花移植作業



はちがめ堆肥による美しい菜の花畑



大坪小学校生徒による菜種の収穫作業



中学生による菜種搾油体験学習



廃食油のBDF精製装置

# 菜の花普及啓発活動

平成14年春  
九州菜の花サミット in いまり開催



菜の花まつり



菜の花環境フォーラム



地球温暖化防止「環境杯」グランドゴルフ大会



年2回開催、秋の大会に菜の花の苗30本と堆肥をプレゼント